

令和3年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 職員による防災講座の実施
- 広報誌を活用した防災意識の啓発
- 市民向けメール配信サービスの登録促進

○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援
 - ・令和4年1月25日に下田市民文化会館にて、要配慮者利用施設避難確保計画策定説明会の開催を予定していたが、コロナ禍により延期
 - ・避難確保計画の策定を促進するための要配慮者利用施設向け資料の作成・配布(予定)
- 水位計情報の活用・検証
 - ・水位観測所及び危機管理型水位計の計測データを活用し、体制確保や避難情報発令の判断材料とする
- デジタル同報系防災行政無線システムの活用
 - ・屋外拡声子局や戸別受信機への放送と同時に、市民向けメール、yahoo防災アプリ等への自動一斉送信
 - ・発令判断支援システムによる危険情報の見落とし防止

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の継続実施
 - ・各種土嚢工法の訓練を継続実施することで消防団の技術と意識の向上を図る
 - ・作成した土嚢を水防活動で使用できるよう詰所に保管
- 出水期前の土嚢作成
- 土砂災害（洪水想定を含む。）防災訓練の継続実施
 - ・自主防災組織を対象とする訓練を継続実施することで、組織の強化を図る



令和4年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 令和3年度の取組を継続
- 稲生沢川以外の2級河川の洪水浸水被害想定周知
- 高潮浸水被害想定周知
(上記2つは、県の公表後速やかに)

○逃げ遅れゼロのための取組

- 令和3年度の取組を継続
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進
- 要配慮者利用施設の避難訓練の実施促進・視察

○社会経済被害の最小化のための取組

- 令和3年度の取組継続
- 事前災害復興まちづくり計画の策定
 - ・令和4～5年度の2か年で策定



令和3年度・令和4年度の主な取組（東伊豆町）

令和3年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 土砂災害に関する啓蒙(6/6)
 - ・広報、メール等により住民へ周知・啓蒙
 - ・自主防災会へリーフレットの配布
 - ・自主防災会において危険地域の把握、巡回



○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施(6/5)
 - ・東伊豆町消防団員 54名が参加
 - ・土のう準備工、積み土のう工法の実施



令和4年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 土砂災害防災訓練の実施(6/5)
 - ・避難訓練の実施
 - ・土砂災害出前講座の実施
(稲取入谷自主防災会)



○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施(6/12)
 - ・土のう準備工、積み土のう工法の実施



○逃げ遅れゼロのための取組

- 避難支援
 - ・ハザードマップの作成・全戸配布

令和3年度・令和4年度の主な取組(河津町)

令和3年度実施

○社会経済被害の最小化のための取組

●水防訓練の実施(5/9)

- ・河津町消防団員57名参加
- ・自衛隊員を講師に土のう作成、積み方講習会の実施



●土砂災害防止出前講座の実施(1回/年)

- ・大鍋地区(12/5) 53名参加

○住民の防災意識向上のための取組

- 風水害防止パンフレットの回覧、イベント時に防災メールの登録案内、啓発活動



- モデル地区における「わたしの避難計画」作成

令和4年度予定

○社会経済被害の最小化のための取組

●水防訓練の継続実施

- ・消防団の水防訓練を継続実施することで技術と意識の向上を図る
- 事前避難への取り組み
 - ・同報無線や、防災メール等による事前避難を促す広報の実施

○逃げ遅れゼロのための取り組み

- 見直された浸水想定区域内の要配慮者利用施設を対象とした、避難確保計画の作成・訓練の実施の働きかけ
- 大雨警報等発表時、要配慮者施設への電話連絡

○住民の防災意識向上のための取組

- 「わたしの避難計画」作成支援
- 防災ガイドブック(ハザードマップ)を活用した防災訓練実施の働きかけ

令和3年度・令和4年度の主な取組（南伊豆町）

令和3年度実施

○大雨に備えた土のうの備蓄

令和3年7月に土のうを必要とする地区の消防団員による土のうづくりを実施しました。

土のう袋・土は町が準備し、土のうを100個作成し備蓄しました。

○「わたしの避難計画」普及事業に参加

静岡県が令和3年度に県内8箇所で実施する「わたしの避難計画」普及事業に参加しました。

南伊豆町では、石廊崎地区のつわぶきの会(会員約20名)を対象に10月、12月に静岡県危機政策課、賀茂地域局、町防災担当で講習会を行い、参加者は計画を作成しました。

その後、石廊崎区の総会で、「わたしの避難計画」について説明し、石廊崎地区全世帯(75世帯)で作成し、災害に備えるよう努めていきます。

○要配慮者利用施設の避難確保計画の作成

昨年度実施した講習会に参加した18事業所から避難確保計画が提出されました。

令和4年度予定

○「わたしの避難計画」作成の普及

令和3年度にはじまった「わたしの避難計画」の作成について、町内の海岸地区（全世帯）で作成するよう普及していく予定です。

○要配慮者利用施設における避難訓練の実施

避難確保計画を作成した事業者において、避難訓練を実施するよう指導・相談を行います。

○水防訓練の実施

消防団を対象に土のうづくりを中心とした、水防訓練を実施します。

令和3年度・令和4年度の主な取組（松崎町）

令和3年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 防災士による出前授業の実施
- ・保健委員等を対象とした災害時の簡易トイレ、簡易ベッドの作り方の講習会（11/16）



○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設への支援
- ・要配慮者利用施設に対し、随時作成指導
- ・要配慮者利用施設との情報伝達訓練の実施（6/6）
- 防災情報の周知
- ・避難情報に係る回覧、各地区へのポスター掲示
- ・避難行動判定フローの全戸配付

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練を計画していたが雨天のため中止（7/4）
- ・消防団の土のう作成等の水防訓練

令和4年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 防災士による出前授業の実施
- ・自主防災会に対し、地元防災士による出前授業を実施
- ・自主防災会対象の防災研修会の開催

○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者への支援
- ・要配慮者利用施設との訓練の実施
- ・地区タイムラインやマイタイムラインの作成推進

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の継続実施
- ・消防団の水防訓練を継続実施することで技術と意識の向上を図る

令和3年度・令和4年度の主な取組（西伊豆町）

令和3年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

- 避難所運営研修会
 - ・研修会はコロナ禍のため中止となったが、田子・安良里地区の自主防災関係者などで構成する研修会実行委員会を定期的に開催し、避難所運営は自主防災組織が主体的に行うものであることを周知した
- 町民防災会議
 - ・コロナ禍のため開催できず
 - ・最新の防災情報については自主防災会議にて共有



○逃げ遅れゼロのための取組

- 避難行動要配慮者への支援
 - ・早期避難所の開設と早期避難の呼びかけ(早期避難を習慣づける)
 - ・コロナ禍では、自宅避難や縁故避難なども呼びかけ
- 避難支援
 - ・土砂災害・洪水のハザードマップを作成
 - ・ハザードマップにコミュニティタイムラインを掲載

- ◆要支援者の避難開始
- ◆要支援者の避難支援
- ◆自主避難の開始
 - ・避難所への避難
 - ・安全な所に住んでいる、親族や知人宅への避難
 - ・自宅の2階以上あるいは斜面から離れた部屋へ避難
- ◆避難の開始(随時避難)
 - ・避難所への避難
 - ・外へ出た避難が危険な場合は自宅の安全な場所へ避難
- ◆緊急避難
 - ・家屋に留まっている場合には、建物の2階や斜面から離れた部屋へ移動

○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施(中止)
 - ・消防団員に対する、自衛隊の指導による積み土のう工法等の水防訓練を実施予定でしたが、昨年度同様自衛隊員のコロナ感染が発覚し、中止となった。

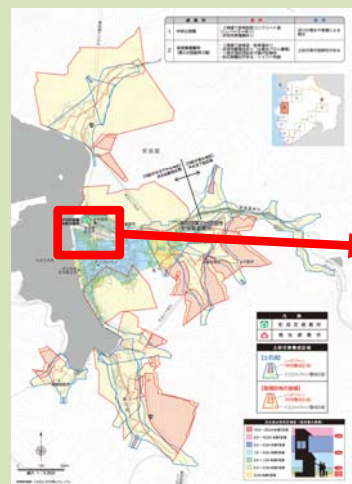
令和4年度予定

○住民の防災意識向上のための取組

- 避難所運営研修会
 - ・自主防災組織が主体的に行う避難所運営の仕組みづくりを継続実施
- 町民防災会議
 - ・最新の防災情報を共有したり、防災に関する意見聴取を行う
- コミュニティサロンへの参加
 - ・町内各地域で行われているサロンに参加し、最新の防災情報を共有

○逃げ遅れゼロのための取組

- 避難行動要配慮者への支援
 - ・自主避難所の早期開設を継続し、早めの避難を習慣づけ
 - ・避難行動要支援者支援計画を活用した避難行動の実施
- 避難支援
 - ・土砂災害・洪水ハザードマップの全戸配布



○社会経済被害の最小化のための取組

- 水防訓練の実施
 - ・消防団員に対する、自衛隊の指導による積み土のう工法等の水防訓練を実施。安全で効果的な水防活動を目指す。

令和3年度・令和4年度の主な取組（静岡県危機管理部）

令和3年度実施

- 大規模氾濫における人的被害を軽減するため、避難意識の更なる向上が必要である。
- このため、「マイ・タイムライン」作成促進とともに、より簡便で、様々な災害リスクに対応する「わたしの避難計画」により早期避難の意識醸成と災害時の避難行動の明確化を図ることとした。
- 令和3年度は、県内8箇所のモデル地区において、ワークショップを開催し、住民意見等を踏まえ、「わたしの避難計画」のひな型を作成した。

○マイタイムラインの推進（わたしの避難計画）

＜河津町見高入谷地区WSの様子 10/18、11/24見高入谷農村会館＞

令和4年度予定

■「マイ・タイムライン」について引き続き普及



【避難行動判定フロー】 【マイ・タイムライン】

「避難行動判定フロー」や「マイ・タイムライン」の周知を行うとともに、ワークショップ開催の支援を行っていく。

■「わたしの避難計画」のモデル地区以外の地域への普及

【南伊豆町石廊崎地区で作成したひな型】

令和3年度に作成したひな型を情報提供し、市町への交付金による取組支援や、スマートフォンで「わたしの避難計画」を作成できるポータルサイトを構築するなど、普及を図っていく。

＜南伊豆町石廊崎地区WSの様子 10/12、12/9石廊崎コミュニティセンター＞

【作成ガイド】

【災害の知識ブック】



令和3年度・令和4年度の主な取組（静岡県経営管理部賀茂地域局）

令和3年度実施

○ 確実な避難指示の発令に向けた取組

1. 豪雨災害に係る講演及び意見交換の実施（令和3年10月21日）

防災関係機関及び賀茂管内市町・県の指揮官が一堂に会する会議において、前伊豆の国市長による講演や参加者による意見交換を実施。

【参加人数】27人

【参加機関】

管内6市町、県（危機管理部、賀茂地域局ほか）
防災関係機関（陸上自衛隊、消防、警察ほか）



2. 市町本部運営訓練の支援（令和3年12月5日）

河津町では令和2年度から風水害を想定した実践的な市町本部運営訓練（図上訓練）を実施しており、賀茂地域局は計画策定を支援し、訓練に参加。

【参加人数】58人

【参加機関】

河津町、県（下田土木事務所、賀茂地域局）
防災関係機関（陸上自衛隊、消防、消防団）



○ 避難行動を促す取組

1. 防災教育の推進

賀茂管内の教育機関等へ出向き風水害や土砂災害を含む防災講座等を実施。

【実施校数（実施率）】

実施校数：48校/管内学校数：52校（92%）

【機関別実施校数】

高等学校：2校

中学校：10校

小学校：18校

幼保等：16校

特別支援学校：2校



令和4年度予定

○ 確実な避難指示の発令に向けた取組

1. 職員風水害対処訓練の実施

県職員の風水害に対する防災対処能力の更なるスキルアップを目指し、状況付与型図上訓練を実施する。



2. 市町風水害対処研修の実施

気象台から発表される各種防災気象情報に基づき、適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断ポイントを市町職員が学ぶ気象防災ワークショップを実施する。



○ 避難行動を促す取組

1. 防災教育の推進

賀茂管内の教育機関等を対象に引き続き関係機関と連携し、風水害や土砂災害の啓発等に関する防災講座を実施する。



令和3年度・令和4年度の主な取組（静岡県健康福祉部）

令和3年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

- 社会福祉法人等の指導監査
 - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、書面及び電話で確認、指導
- 高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂
 - ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」について、市町担当課・連絡先等の修正を反映
 - ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策に重点をおき、本マニュアルを活用
- 社会福祉施設等職員防災研修会
 - ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を動画で配信
 - 【研修内容】
要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等
- 避難行動要支援者の避難支援対策等に係る意見交換会
 - ・危機管理部、交通基盤部と連携して、市町防災、福祉担当職員に対して意見交換会をオンラインで実施
- 浸水区域内要配慮者利用施設の支援
 - ・洪水浸水想定区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定や浸水対策資材等の整備を支援

令和4年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

- 社会福祉法人等の指導監査（継続）
 - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、書面及び電話で確認、指導
- 高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂（継続）
 - ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」について、市町担当課・連絡先等の修正や、制度改正を反映する。
 - ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策に重点をおき、本マニュアルを活用する。
- 社会福祉施設等職員防災研修会（継続）
 - ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を実施する。
 - 【研修内容】
要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等
- 避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援（**拡充**）
 - ・危機管理部、交通基盤部と連携して、市町防災、福祉担当職員に対して意見交換会を実施する。
 - ・市町職員向け個別避難計画作成研修会を実施する。
- 浸水区域内要配慮者利用施設等の支援（**拡充**）
 - ・洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定や浸水対策資材等の整備を支援する。

令和3年度取組実績

要配慮者施設における確実な避難に向けた取組 水害リスク情報等の共有に向けた取組

○地域防災力向上に関する市町の取組を支援するため市町職員を対象に河川事務等の研修会を実施

- ・土砂災害防止対策の推進に関する意見交換会（令和3年5月）
- ・河川関係事務研修会（令和3年9月）
- ・河川協会研修会（令和4年2月）

※ 開催にあたっては静岡地方気象台の協力をいただきました。



（Webによる研修）

【河川協会研修会内容】（令和4年2月16日）

- 1 「最近の水害リスクの周知に関する話題」
河川企画課 課長 望月 嘉徳 氏
- 2 「気象庁危険度分布(キキクル)について
及び大雨事例の検証」
静岡地方気象台 水害対策気象官 工藤 美華子 氏
- 3 「水害ハザードマップの作成と活用について」
一般財団法人 河川情報センター 鮎川 一史 氏

○令和4年度以降も引き続き研修会等を実施

令和4年度取組予定

水害リスク情報等の共有に向けた取組

○中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表
【令和4年度】(33/33河川 公表)

・青野川水系前田川ほか32河川の公表

下田土木事務所管内:33河川完了

○コロナ禍における防災対策

「事前に備える防災講座」動画を公開

- ・水災害リスク情報や避難方法等をテーマとした動画を作成し、YouTube(ユーチューブ)で公開
- ・動画のQRコードを掲載したチラシを作成し、配架



- ★ 令和2年度から実施
現在9本の動画を公開
- ★ 継続して動画を作成



動画公開リンク先
QRコード

令和3年度・令和4年度の主な取組（下田土木事務所）

令和3年度実施

● 河川における機能の確保

- ・河川内の堆積土砂撤去等による流下能力の保全
国土強靱化対策（総合流域防災）事業
（二）稲生沢川（河道掘削工） $V = 11,200\text{m}^3$



● 避難行動を促す取組

- ・出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会
土砂災害に関する出前講座を合計7回開催
（地域住民を対象：1回、小学生を対象：6回）



【下田市立浜崎小学校】

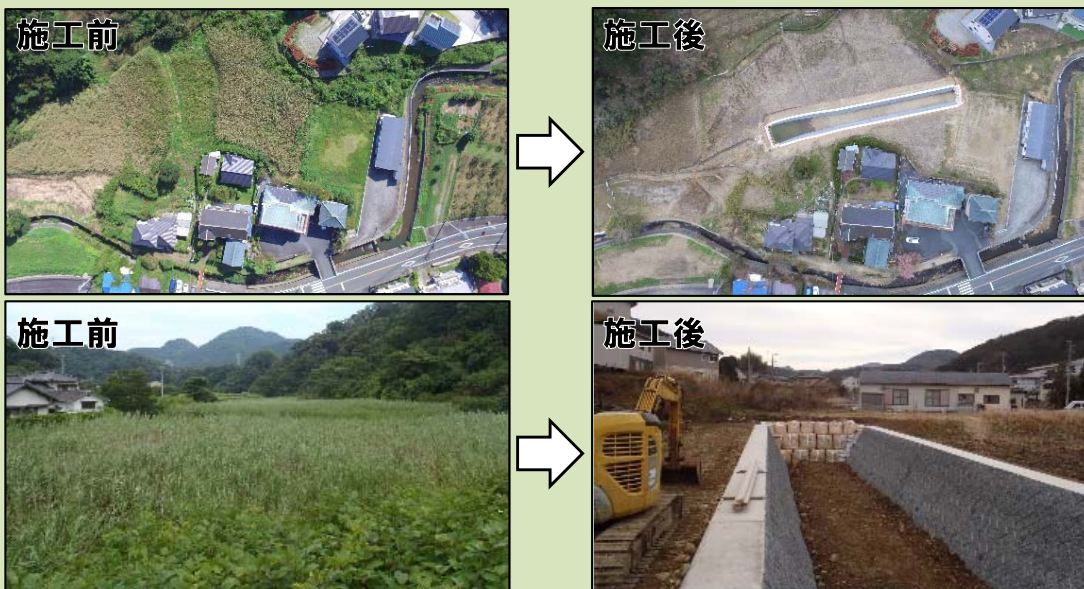


【南伊豆町立南上小学校】

令和4年度予定

● 流域の市町と河川管理者が一体となった 総合的な治水対策の推進

- ・河川整備計画などに基づく治水対策の着実な実施
緊急自然災害防止対策事業
（二）大賀茂川（捷水路工） $L = 250\text{m}$



● 避難行動を促す取組

- ・出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会
出前講座を継続的に実施していく。

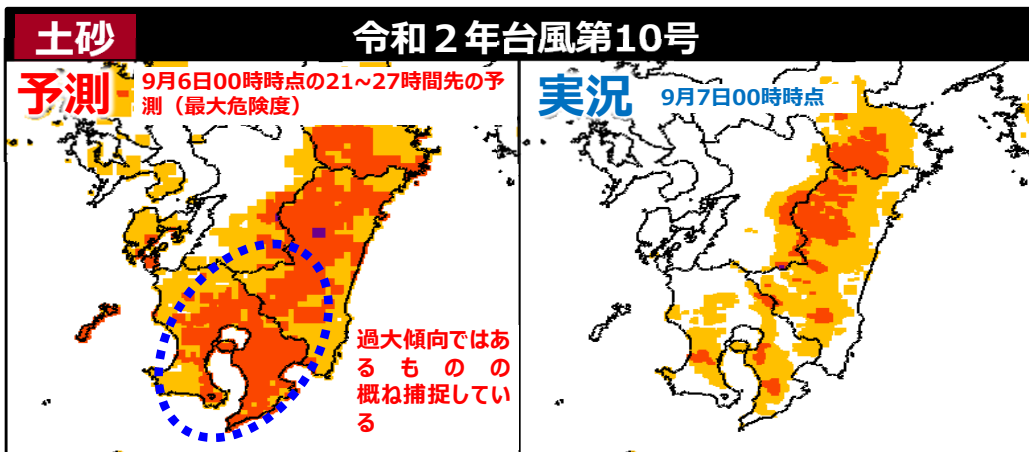
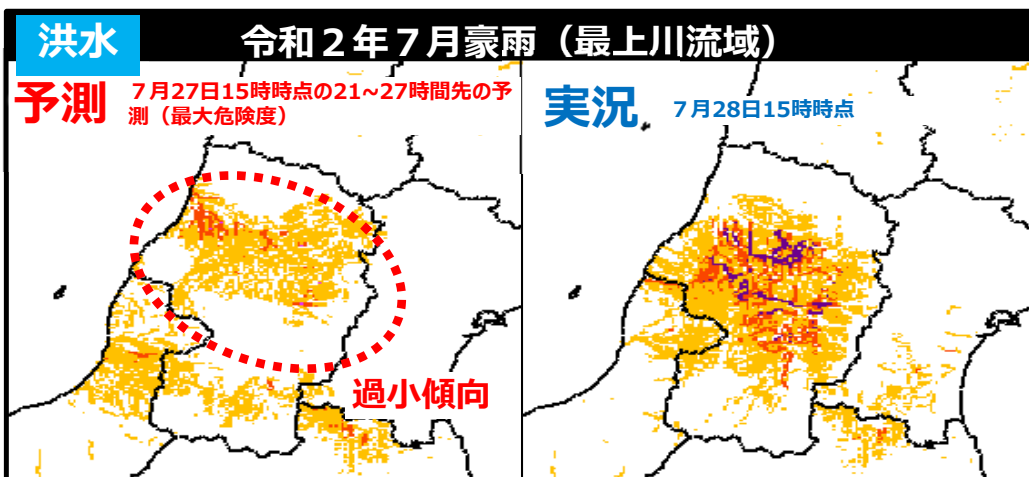
	開催回数	延べ人数	備考
令和4年度	8回(予定)	—	こども園1、小学校6、高校1
令和3年度	7回	344名	小学校6、防災訓練1
令和元年度、2年度	7回	611人	小学校4、高校1他

令和3年度・令和4年度の主な取組（静岡地方気象台）

令和3年度から実施検討中

1日先の予想「危険度分布」等の提供開始を検討

台風による大雨など可能な現象について、より長時間のリードタイムを確保した警戒の呼びかけを行うため、1日先までの雨量予測を用いた「危険度分布」の提供開始を目指す。予測精度を検証した上で、精度も考慮した呼びかけ方や表示方法の具体について検討していく。



令和4年度実施・予定

警戒レベルとキキクルのカラーコードの統一

- ・警戒レベル5（緊急安全確保）黒色に対応する、警戒レベル5相当の大雨特別警報や氾濫発生情報の基準値への到達を示すキキクルの「黒色」がない。
- ・警戒レベル4（避難指示）「紫色」に対応する、警戒レベル4相当の土砂警戒情報にはキキクルの「うす紫」（非常に危険）と「濃い紫」（極めて危険）があり、警戒レベルとキキクルのカラーコードが一致していない。

警戒レベル	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
警戒レベル相当情報	警戒レベル3相当 大雨・洪水警報 キキクル：警戒	警戒レベル4相当 土砂災害警戒情報 キキクル：非常に危険	警戒レベル5相当 大雨特別警報 キキクル：極めて危険

【令和4年6月30日から実施】

気象庁HPより



「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成